

完成した第4系統豚「クロサツマ2015」

系統豚「サツマ」に代わる新系統豚として、ロースの大きさやほ乳子豚の育成率・発育を改良した「クロサツマ2015」が完成した

背景・目的

- ・本県では黒豚系統豚を造成し、「かごしま黒豚」の生産性向上に寄与。
- ・第1系統豚「サツマ」は、供用年数が長いため、近交係数の上昇に伴う繁殖能力の低下が懸念。
- ・「サツマ」に代わる4番目の系統豚を造成し、黒豚種豚の安定供給に資する。

成果の内容

○主要改良形質すべて改良目標を達成, その他の形質も向上

●主要改良形質の成績

改良形質	改良前	改良目標	完成豚
背脂肪の厚さ※1 (cm)	1.9	1.7	1.6
ロース断面積※1 (cm ²)	24.4	27.7	27.7
離乳時子豚総体重 (kg)	46.8	60.0	60.6※2

●その他の形質の成績

形質名	基礎豚	第6世代
離乳頭数 (頭)	6.83	7.41
育成率 (%)	90.7	94.2
離乳時子豚 体重(kg)	6.24	7.33

※1: 体重80kg時の成績 ※2: 認定群の母豚平均

○系統豚「クロサツマ2015」として認定



導入メリット

○かごしま黒豚の種豚の安定供給

サツマに代わる系統豚として、種豚の安定供給に寄与する。

○離乳頭数の増加による生産性の向上

離乳頭数が、基礎豚平均6.8頭から、7.4頭に増加、育成率も4ポイント向上し、年間出荷頭数の増加が期待される。

現在実施中である3系統豚の組合せ試験の結果を情報発信することにより、系統豚の利用・普及が拡大。



「かごしま黒豚」の生産性向上と品質の齊一化が図られ、より一層のブランド力向上が期待される。

期待される効果

生産性向上による出荷頭数の維持・増加と「かごしま黒豚」のブランド力向上

普及対象・範囲
(一社)鹿児島県種豚改良協会
一般種豚増殖施設(県内7カ所)

鹿児島県農業開発総合センター中小家畜部養豚研究室